

# ゼロ・エミッション自動車技術の選択

本シミュレーションでは、電気自動車(EV)か燃料電池車(FCV)の割合をオプション A から D の中から選択します。ゼロ・エミッション車を選択すると、FCV と EV の比率をオプション A(全て FCV)からオプション D(全て EV)まで選択することができます(図 1)。詳しい設定に関してはエクセル・スプレッドシートモデルを参照してください(Zhou, et al. 2014)。

オプション	内容
A	2050 年までに全てのゼロ・エミッション車を EV が占める。
B	2050 年までにゼロ・エミッション車の 70%を EV が占め、30%を FCV が占める。
C	2050 年までにゼロ・エミッション車の 30%を EV が占め、70%を FCV が占める。
D	2050 年までに全てのゼロ・エミッション車を FCV が占める。

※ 先導的低炭素技術は、環境省 L2-Tech リストの「C-01-003 電気自動車」、「C-01-102 乗用車:燃料電池車」、「E-03 蓄電池」、「E-04-001 再生可能エネルギー由来水素製造」、「E-04-002 燃料電池」と「E-04-101 水素貯蔵」を参照(環境省 2014、2015)。

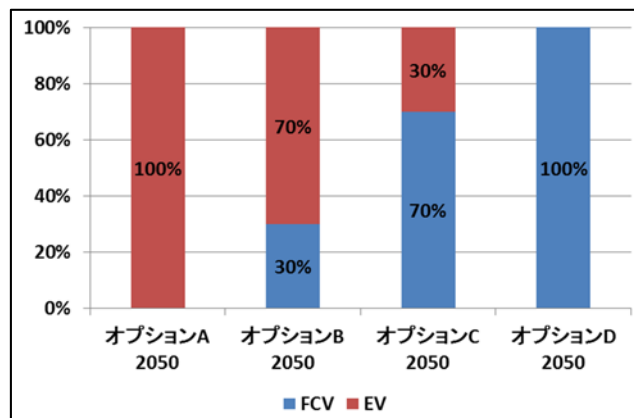


図 1 : ゼロ・エミッション車の技術選択

## 参考文献

Zhou, X., Ashina, S., Kuramochi, T., Moinuddin, M., Wakiyama, T., and Kuriyama, A. (2014) Japan 2050 Low Carbon Navigator (Excel Model). IGES/NIES. <http://www.2050-low-carbon-navi.jp/web/en/index.html>

環境省(2014) 平成 26 年度版 L2-Tech リスト (素案) の公表について (お知らせ) . <https://www.env.go.jp/press/18927.html>

環境省(2015) 「L2-Tech2015 年度夏 認証製品リスト」の公表について. <https://www.env.go.jp/press/101557.html>